

今週の主な News

1. 全まち 2024 in ナゴヤの開催案内
2. JANPIA 外国人支援事業の経過報告
3. 福岡支部交流学習会 & J's cafe in Fukuoka の報告

■全まち 2024 in ナゴヤの開催案内



今年の全国まちづくり会議は初の名古屋開催として10月12日、13日(土日)に円頓寺商店街を中心に、なごのキャンパス、伊藤家住宅、ワイナリーの3会場で開催します。また、12日には円頓寺商店街主催による地域交流会、14日には周辺エリアのエクスカージョンも開催します。

また、「全国まちづくり会議 2024 in ナゴヤ」の公式HPが開設され、参加申し込みの受付を開始しました。詳細なプログラムは8月下旬に公開予定です。

<https://sites.google.com/view/zenmachi2024>

是非名古屋にお越し頂き、全まちに参加してディスカッションと交流をお楽しみください。

◇開催概要

イベント名:全国まちづくり会議 2024 in ナゴヤ

開催テーマ:「ナゴヤのまちづくりの行方」

日時:2024年10月12日(土)・13日(日)

※14日はエクスカージョンもあります(申込自由)

場所・会場:なごのキャンパス(体育館・ホームルーム)

円頓寺商店街(ワイナリーCOMMONE 3階)

那古野地区(伊藤家住宅)

参加費:無料

<https://sites.google.com/view/zenmachi2024>

主催:認定NPO法人日本都市計画家協会

共催:円頓寺商店街振興組合

後援:名古屋市・愛知県・中部地方整備局

名古屋港管理組合・中日新聞社

協力:愛知建築士会

◇「全国まちづくり会議」2024 in ナゴヤの特徴

テーマ:ナゴヤのまちづくりの行方

これまで「清洲越し」(名古屋城の築城に伴う清洲から名古屋への都市の移転)や、戦災復興計画にみる大胆な都市計画が実行されてきた一方で、ともすれば保守性がにじみ出るとも言われるナゴヤ的なまちづくりが、これからどのように展開するかを見いだし、新たな可能性や気付きを生み出す機会にしたいという思いが詰まっています。

◇主なプログラム(予定)

オープニングセッション

「ナゴヤのまちづくりの行方」

コーディネーター:秀島栄三(名古屋工業大学 教授)

登壇者(敬称略):村山顕人(東京大学 教授)

:坂本敏彦(名古屋住宅都市局担当局長)

(まちづくり推進担当)

「建築・まちづくり学生生活動コンペ」

公開審査会・記念講演会

審査員長:西田 司(東京理科大学准教授・オンデザインパートナーズ)

審査員:恒川和久(名古屋大学 教授)ほか

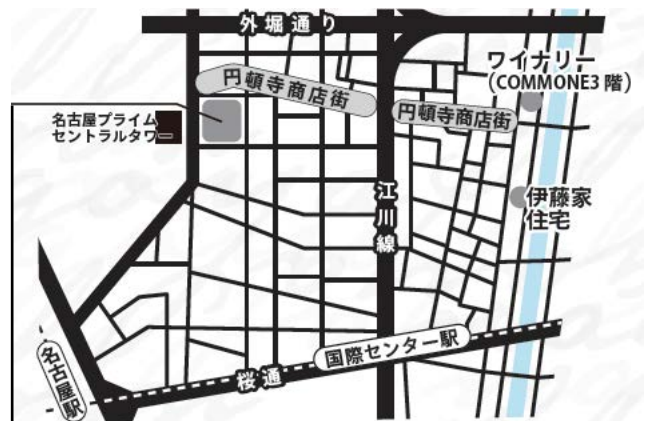
まちづくりの今がわかる様々なプログラム

テーマセッションやワークショップ、事例発表など

地域交流会(主催:円頓寺商店街、別途申込必要)

◇地域交流会(2024年10月12日(土)夕方～

初日の夕方からは、円頓寺商店街・まちづくり協議会主催の「地域交流会」が開催されます。円頓寺商店街のまち歩きやレクチャーのあと、全蓋アーケードの商店街自体を会場とした交流会を実施します。会費は4千円、定員は80～100名です。併せて是非ご参加下さい。(文責 原拓也)



JR/名鉄/地下鉄東山線・桜通線名古屋駅 桜通口より徒歩8分

会場

なごのキャンパス

名古屋市西区那古野 2-14-1

○円頓寺商店街

●ワイナリー

●伊藤家住宅

■JANPIA 外国人支援事業の経過報告

①各実行団体の伴走支援

下表に示す 11 の実行団体の活動について、担当する PO・伴走支援者が個別に伴走支援。また、JANPIA 担当者、11 の実行団体を伴走支援する PO・伴走支援者が会する月例定例会を開催し進捗確認、課題等を共有化しています。

表一 実行団体の取組み概要

No.	団体名	取組み概要
1	住みまーる (コンソーシアム)	OKINAWA 住みまーる！プロジェクト 2024 沖縄における在住外国人の住環境と地域コミュニティ支援
2	NPO 法人 Peace & Nature	Organic Village-EcoDiscoveryDOJO の構築！外国人と日本人が山村エリアにて学び！体験！仕事に繋がる！場をつくりモデル事業を推進しよう！
3	外国人ヘルプライン東海	生活に困窮する外国人住民を支援するための持続可能な相談プラットフォームづくり 制度の穴に落ちてしまう最貧困層を支えるために
4	NPO 法人多文化フリースクールちば	脆弱な少数民族言語の人々への支援と自宅学習者へのサポート体制の構築2 「新教室」の開設と支援の継続可能な体制作り
5	特定非営利活動法人まなびと	外国人人材発掘・育成事業2 より縦断的な関わりを通じて、一人ひとりのやりたいことに寄り添う
6	認定特定非営利活動法人茨城 NPO センター コモンズ	外国籍住民が地域で多様な形で自立するのを支えるための体制の強化 人生の曲がり角となる場と学びの創造を目指して
7	NPO 法人日越ともいき支援会	在留外国人包摂強化支援事業 技能実習生と特定技能外国人のための生活支援
8	特定非営利活動法人シェア国際保健協力市民の会	外国人住民が適切な保健医療サービスを受けられるために不可欠な 医療通訳サービスの体制強化事業
9	外国人女性の会 パルヨン	ウクライナ避難民のための心理療法の提供及び支援ネットワークづくり事業
10	特定非営利活動法人多文化センターまんなか	多文化共生の中心となる場所創り～本当のセンターになろう～ 外国人が活躍できる場、地域と交流できる場を創造する
11	特定非営利活動法人 Oneself	外国にルーツを持つ方へのインターンシッププログラム構築事業 ジョブレンジャー

②中間報告会の開催

各実行団体から前半の活動について簡単なレポートの提出を受け、それに基づき中間報告会を下記の日程で開催を予定しています。

◇日時:2024年9月8日(日) 12:30～17:00

◇場所:ふたば学舎(神戸市長田区)

◇参加者:実行団体、JANPIA 担当 PO、JSURP 及びあおぞら財団の PO・伴走支援者、選定委員

中間報告会では、各団体の取組みの経過報告と後半に向けての活動予定を確認・共有化するとともに、外国人と共に暮らし支え合う地域社会の形成に向けて各団体の課題*と解決策を検討する予定です。

※支援する人たちの社会参加の促進、団体の活動の継続性の確保、地域社会の変革の促進 など

また、中間報告会の前日および当日午前中に兵庫県内の団体の現地視察会開催する予定です。

さらに、当日終了後、参加者での交流会の開催も企画しています。(文責 中川智史)

■福岡支部交流学習会 & J's cafe in Fukuoka の報告

福岡支部では7月26日(金曜日)に山本会長を交えた、支部会員と本部との交流を深める J's cafe in Fukuoka を開催しました。当日は山本会長による「日本都市計画家協会の活動の今」をテーマとした講演とその後の会員との懇談が行われました。会場は支部若手会員が発掘した、福岡天神の目抜き通りである渡辺通りに面したホテル一階のカフェスペースで、軽食を交えたアットホームな雰囲気の中で、会員外も含め 20 数名の老若男女が集まり、山本会長の熱弁に皆耳を傾けました。

まず、協会の歴史を牧常務理事が説明した後、山本会長より、近年の協会の主な活動として①ジャンピアの取り組み、②能登輪島の支援活動③地方における逃げ地図の取り組み④現在準備中の全国まちづくり会議の紹介と、参加呼びかけ、企業協賛の呼びかけなどの説明と質疑応答で、あっという間に2時間が経過しました。



その後川端支部幹事の音頭で恒例の「博多一本締め」で一次会を締めくくり、そのまま10数名で二次会へ。当然二次会の方が長く深夜の閉店近くまで、語り飲み続けました。若手会員の数名が全まち参加を表明し、現在福岡支部で取り組んでいる「(仮称)まちづくりを繋ぐプロジェクト」を会長も交え議論(酔論)し、無事企画は終了しました。



「また、本部の皆さんを招待しよう！」の掛け声で終わったように記憶(酔憶)しています。(文責 牧敦司)

■事務局夏季休業のお知らせ

8月13日(火)から8月16日(金)までは夏季休暇のため本部事務局は不在となります。